

「全力平中」

夢を語り、夢を追う生徒
笑顔 続ける 支え合う

【学校だより】

平戸市立平戸中学校
令和8年3月24日
文責 原田 誠

令和7年度 修了式



本年度も無事に修了式を迎えることができました。この一年、生徒たちは日々の学びや学校生活を通して多くのことを経験し、大きく成長いたしました。仲間とともに過ごす中で、思いやりや協力する心を育み、それぞれが自分らしさを発揮してくれたことを、大変嬉しく思っております。

これもひとえに、保護者の皆様のご家庭での支えと、本校の教育活動へのご理解・ご協力の賜物でございます。改めて深く感謝申し上げます。

来年度も、子どもたち一人一人が安心して学び、さらに可能性を広げていけるよう、教職員一同力を合わせて教育活動の充実に努めてまいります。引き続き、本校への変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、修了式で生徒たちに伝えた私の挨拶を掲載いたします。ぜひご覧ください。

今、学年の代表として、森さんと松瀬さんが、この1年間をしっかりと振り返ってくれました。皆さんにとって、令和7年度はどのような1年だったでしょうか。3月13日、3年生を送り出し、いよいよ皆さんが平戸中学校のリーダーとなりました。先日の卒業式では、来賓の方々からたくさんのお褒めの言葉をいただきました。それは当日の式だけでなく、贈る言葉や歌の練習、会場設営や清掃など、皆さん一人一人が一生懸命取り組んだ成果です。3年生も、気持ちよく卒業できたことと思います。

さて、1学期の始業式や入学式で、私は皆さんに次のようなメッセージを送りました。1年生には、「心の力・学ぶ力を身に付け、優しく、たくましく成長してほしい。」2年生には、「しっかりと根を張り、来年、大きな花を咲かせる準備をしてほしい。」と伝えました。

そして今日、最後に一つ、どうしても伝えたいことがあります。それは、「当たり前のことを当たり前でできる力」をつけてほしいということです。残念ながら、平戸中学校のよき伝統である、3分前入室・1分前着席が守れなくなってきています。仲間の呼びかけに応えようとしない姿も見られます。また、授業をさまたげる行動、シューズのかかとを踏む姿、給食の残菜の多さ、そして仲間を傷つける言動もありました。一部の生徒の行動が、多くの仲間を悲しませているという事実を、決して忘れないでください。自分たちの楽しみだけを優先することは、決して許されるものではありません。もう一度言います。「やりたくても、やってはいけないことがあります。やりたくなくても、やらなければならないこともあります。」このことを意識することで、充実した生活や、皆さんの幸せにつながります。忘れないでください。私だけでなく、平戸中学校の先生方は、皆さんのことが大好きです。だからこそ、本気で向き合い、本気で伝えています。皆さんのことを、心の底から応援しています。令和8年度、これらの課題を一つ一つ乗り越え、さらに素晴らしい平戸中学校をつくっていきましょう。また、皆さんは平戸市で一番生徒数が多く、活気ある学校に通っています。平戸の名前を背負っていることに、ぜひ誇りを持ってください。1年生の皆さん。これからの1年間でしっかりと根を張り、3年生になるための土台を築いてください。2年生の皆さん。いよいよ来年度は、学校の中心です。大きな花を咲かせる時です。今以上に素晴らしい平戸中学校となるよう、力を尽くしてください。

最後に、平戸中学校の学校教育目標は、「夢を語り、夢を追う生徒の育成」です。先週、田助小学校の卒業式に出席しました。そこでは、すべての児童が将来の夢を語っていました。皆さんは、小学校を卒業する時、どんな夢を語っていましたか。そして今、その実現に向けて努力していますか。ぜひ、あの時の自分を思い出してください。その原点に立ち返ることで、これからの自分の歩みが、きっと見えてくるはずですよ。

それでは、皆さんの令和8年度のさらなる活躍を期待して、挨拶とします。

各種表彰 おめでとうございます



令和7年度最後となる表彰伝達式を行いました。今後のさらなる活躍を願っています。

(敬称略)

氏名	コンクール名	結果
平松 朋樺	第5回佐々木冷菓主催「長崎の夢！トラックデザインコンテスト」 中学生・高校生・大学生部門 ブラックモンブラン賞	佳作
市川 紗妃	平戸市教育委員会表彰【児童・生徒の部、学校文化活動表彰】	
中山 悠雅	平戸市教育委員会表彰【児童・生徒の部、学校文化活動表彰】	
道添 妃萌	平戸市スポーツ表彰【スポーツ賞・個人の部】	
道添 由萌	平戸市スポーツ表彰【スポーツ賞・個人の部】	
空手道部	平戸市スポーツ表彰【スポーツ賞・団体の部】	